

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

校訓「夢の実現」 学校教育目標「向学 自立 協働」

学校課題研究テーマ『『わかった』『できた』という喜びを味わえ、確かな学力を育成する授業の実践』
道徳教育「夢や希望を持ち、心豊かに生きる生徒の育成」

～道徳科に向けた、効果的な指導方法の工夫と適正な評価のあり方～

＜本年度の学力向上策＞

(1)「よい授業」4つの因子のうち「生徒の活動」を重視した授業実践

☆授業の中で次のような場面を設定する

問題の解決に向け、児童生徒が自分一人で考える
問題の解決に向け、友達同士で話合う
児童生徒が、自分の考えや感想を「書く」時間をとる
児童生徒が、自分の考えや感想を発表する
今日の学習のまとめを、児童生徒自身に考えさせる

☆基礎学力の定着を図る

- ・川通中学校チャレンジカップ[®]（5教科基礎学力向上テスト）の見直しと各教科の指導計画の作成
- ・小学校との連携（家庭学習等共通の取組みなど）
- ・学年の実態に合わせた家庭学習の取組みの定着
- ・学習の記録（定期テスト等の学習計画や結果、長期休業中の生活記録等）の活用

(2)道徳の指導方法の工夫

- ・効果的な指導方法の工夫（話し合い、書く活動、表現活動、板書の活用、展開後段の振り返り）
- ・適正な評価のあり方（道徳ファイルを活用した毎回の自己評価や年度末の振り返り、小学校の実践を参考に評価例を作成）

＜本年度の振り返り＞

- ・生徒の学習への取組意識の向上が見られた。（学校評価より「積極的に集中して授業に取り組んでいる」「わかりやすい授業」の項目において）
- ・生徒の授業での取組が学力の定着につながり、「学力が上がった」と感じることができるよう、家庭学習の取組の工夫がさらに必要である。
- ・道徳の授業でグループの話し合いの場面を取り入れるなど、表現活動について指導方法の工夫に取り組んだ。
- ・講師を招聘して道徳の評価に関する研修を行い、指導と評価の関わりなどの理解を深められた。
- ・生徒の道徳意識の向上が見られた。（学校評価より「自分の考えをもつことができる」「学校の決まりやルールを守る」「積極的な挨拶」「規則正しい生活」「ボランティア活動への参加」の項目において）
- ・道徳の取組を保護者への伝達する方法のひとつとして、評価についての研究をさらに深めたい。

